



Weekly Report



クラブ会長テーマ

理想は広く大きく…行動は地道にしっかりと

2004-10-13 第671回例会 NO. 15-14 2004-10-27 発行

◎司会 SAA委員会 篠崎 一雄

◎点鐘 会長 菊池 敏

◎ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 吉沢 洋景◎お客様紹介 会長 菊池 敏
・東京新都心RC 萩生田富司喜 様

◎会務報告 会長 菊池 敏

①本日、例会後定例理事会があります。役員、理事は事務局までお集まりください。

◎幹事報告 幹事 田島真由美

①次回例会の10月20日(水)は休会です。10月22日(金)IMの振替です。呉々もお間違えのないように。尚、IMの受付は12時からです。

②米山奨学委員会より、寄付の御願いが配布されています。委員会報告で、杉野委員長より詳しいお話があります。

【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 藤本 吉文

- ・会員総数 42名
 - ・出席義務者数 41名(出席免除者1名)
 - ・出席者数 30名
 - ・欠席者数 11名(事前MU1名)
 - ・出席率 75.61%
 - ・欠席者:阿部 華歌、藤原 正範、桧垣 昭、平野 行廣、小泉 博、宮村 宏、澄川 昇、高木 淳光、高野 範城、海野 榮一、由井 真司
 - ・補填MU:海野 榮一 9/30 多摩東G野球大会
- 9/29 最終訂正出席率 69.05%**

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 伊藤 英也

菊池 敏 お客様、ようこそいらっしゃいました。田島真由美 山川サン、イニシエーションスピーチ楽しみにしております。

大松 誠二 山川さん、イニシエーションスピーチ楽しみにしています。

伊藤 英也 山川さんのイニシエーションスピーチ楽しみにしています。

村上 久 誕生祝ありがとうございました。

篠崎 一雄 パリーグの優勝をかけたダイエー対西武のプレーオフ第2ステージ第5戦で、ダイエーを4対3で勝ち、見事優勝を果たした。伊東監督の全員野球の勝利でニコニコ

赤尾 恭雄 山川さん、イニシエーションスピーチ楽しみにしています。

小城 章員 山川さん、卓話を楽しみにしています。

関岡 俊二 山川さん、イニシエーションスピーチ楽しみにしております。

山川 哲弥 イニシエーションスピーチご静聴宜しくお願ひ致します。

杉野志保子 お久しぶりです。

萩生田政由 10月8日に秋田県のと賀岳へ登山。紅葉が最高!キノコは無し。残念!

津守 弘範 早く天気がよくなるといいですね。

小林 正 もう雨はうんざりですネ。

本日の合計 ¥19,000 (累計 ¥309,002)

◎米山奨学委員会 委員長 杉野 志保子

10月は米山月間ということで、少し時間を頂きます。今年度当クラブの寄付金目標額を、782,000円と致しました。普通寄付金82,000円と特別寄付金70万円の設定です。10月初めに、米山奨学委員長会議、米山カウンセラー会議が開かれ、様々な数字が発表されましたが、要は資金が足りなくて、積立金を取り崩して

東京多摩グリーンロータリークラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagr@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会長】菊池 敏 【幹事】田島真由美

【クラブ会報委員長】小田泰雄 【副委員長】加藤喜三郎

【委員】田中 貴・小城章員・足立潤三郎・杉野志保子・小泉 博・内田 杏

いる、危機的状況だということです。

今年度の2750地区の寄付金額は、自主目標値でも対前年比マイナス17%となっております。当委員会としては、対応策として、2005年4月から奨学生数を1000人から800人に、奨学金を1ヶ月院生で15万円から14万円に、学部生は12万円から10万円に減額させます。

このような状況をご理解いただき、あくまで皆様の自由なご意志でご協力いただければ誠にありがたく、お願い致します。一人年間2万円寄付いただければ、当クラブの目標はクリアーできるものと考えています。

本日、米山の豆本と寄付申し込み用紙を配布させて頂きましたので、重ねてお願い申し上げます。

◎広報・雑誌委員会 委員長 津守 弘範

2750地区の雑誌委員長会議がありました。

「ロータリーの友」は読まれないベストセラーと言われるが、全てではないが必要なところは読まれている。等

◎イニシエーションスピーチ

林建設(株)専務取締役 山川 哲弥



本日は、イニシエーションスピーチをするようにと指名を頂きました。多摩グリーンRCは、会員相互の親睦が第一という事で、私の今日までの生き方と業務内容をお話し、皆様方にご理解頂くのが一番だと考え、自己紹介させて頂きます。

まず、私は昭和11年に山形県の片田舎で、5人兄弟の三男坊として生まれました。父は村役場の職員でありましたが、その頃は大変な不景気で、地方で生活するのは大変であったようであります。私が4歳のときに今の府中市に一家で引っ越してまいりました。今の農工大学と府中刑務所の近くであります。当時、周辺は雑木林ばかりで何もありませんでした。その後間もなく第二次世

界大戦が始まり、B29の爆撃と艦載機の銃撃にさらされながら、片道30分かけて府中の小学校に通学していました。その後終戦になり、急に静かになったなあという印象をもちました。

戦後の混乱の中で一年程してから、一番上の兄が特攻隊で戦死した知らせを、兄の部下であった隊員からお聞きしました。お話によりますと、8月15日終戦の翌日16日に、空軍司令長官宇垣空軍中将から、「自分は、若い隊員を多数特攻隊として出撃させた責任がある。今ここで自分が生き残ることは出来ない。誰か一人特攻機を操縦してくれないだろうか?」と言う話であったようであります。その時即座に「長官、私が操縦致します。」と言い、そして、沖縄方面へ飛び立っていったのが、兄の最後であった様であります。その知らせを聞いた両親の落胆振りは、今でもしっかりと記憶しております。

その後、小学校、中学校、高校と進学し、現在の林建設株式会社に入社致しました。

私の仕事を手伝ってくれる女子事務員が5年程して入社して来ました。彼女の名前は「相沢さん」と言い、縁あって二人は結婚致しました。社内結婚第一号と言う事で、仲人も先代の社長にして頂き、今に至っています。

家族は長女、次女の4人暮らしでしたが、現在、長女は世田谷区、次女は横浜市とそれぞれ二人づつ子供を育てながら生活をしております。

去年、このクラブが主催したチャリティーゴルフコンペに、会員の村上さんのお誘いで参加させて頂きました。その村上さんから、「多摩グリーンRCに入会しませんか」と熱心に誘われたのであります。

私も、この多摩市に骨を埋める訳ですから、ロータリーの精神を、少しづつではありますが理解し、この多摩グリーンRCの皆様方と一緒に活動させて頂きたいと思っておりますので、今後ともよろしくご指導くださいますよう心から御願い申し上げて、イニシエーションスピーチとさせて頂きます。

◎お礼と点鐘

会長 菊池 敏

(今週の担当 小城 章員)

